

種目名	書写	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	教育出版
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書	日本文教
1 学習指導要領との関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を整えて書くための原則をもとに、課題解決型の学習を通して、主体的に学ぶことができるように配慮されている。</li> <li>・振り返りでは、自己評価だけでなく、話し合い活動を取り入れ、対話的な活動ができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試し書きをもとに、考えたり話し合ったりしながら、自らの課題や解決法を見つけることで、対話的な活動ができるように工夫されている。</li> <li>・まとめや振り返りを通して、生活の中で、学びを生かすことができるように編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の進め方」を提示し、思考を促す図版や写真を載せたり、自己評価欄を設定したりすることで、主体的に学習する能力を高められるように編集されている。</li> <li>・「書写の言葉」で、評価する視点を示し、スムーズな話し合い活動ができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容が見開きで収まるように配置され、見直しをもって学習できるように編集されている。</li> <li>・導入で、整った文字の書き方について話し合う場を設定し、課題解決が図られるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でめあてを決めたり、題材を選んだりする場を設け、主体的に学習に向かうことができるように編集されている。</li> <li>・キャラクターの問いに答えたり友達と話し合ったりする活動を取り入れ、課題解決につながるような工夫がされている。</li> </ul>
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活に広げよう」では、日常生活に即した学びができ、自らの力を社会に生かしていくことができるよう設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふり返ろう」では、自分で考えて自由に書く欄を設け、自分の考えや思いを大切にしたい学びを日常生活に生かせるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふり返り伝え合う」では、イラストや写真をもとに話し合い、自らの力を高められるよう工夫されている。</li> <li>・学習や日常生活に生かせる「書き方のこつ」が取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語や英語との関連教材や、日常生活に関連する資料が多くあり、児童が身に付けたイメージを主体的に生かしていけるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に深く関わりのある、手紙や掲示物などの書式が取り上げられ、書写を通して自らを高められるような工夫がしてある。</li> </ul>
3 内 容	(1) 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・单元ごとに、ねらいを焦点化して基礎・基本が定着するように工夫されている。</li> <li>・巻頭に1年間の「書写のかぎ」がまとめてあり、学習の見通しがもてる。</li> <li>・他教科との合科的・関連的な教材を扱い、学びを生かせるように配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本を大切にし、主体的に取り組む態度が身に付けられるように配慮されている。</li> <li>・書き込み欄が多く設けられており、書いて確かめたり、書いて学んだりすることができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本が確実に身に付くように、学習内容が初めに簡潔にまとめられている。</li> <li>・めあてに対して「考えよう」「ここが大切」と具体的な解説があり、分かりやすい。</li> <li>・学習したことを他教科や日常生活で活用できるような教材を取り上げ、場面に応じた書き方のポイントが具体的に解説してある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の進め方」「たいせつ」「ふり返ろう」で、学習の流れをイメージしながら、学ぶことができる。</li> <li>・筆使いや運筆を表現するキャラクターを用いて、学習ポイントを意識できるような工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に書写学習の進め方が、まとめてある。</li> <li>・「考える」「いかす」「確かめる」の3ステップで段階的に学習できる工夫がある。</li> <li>・国語科の学習や生活体験に合った内容を取り上げ、学んだことを日常生活に関連付けられるよう配慮されている。</li> </ul>

<p>(2) 内容の程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精選された教材で、発達段階に応じ、生活に関連付けられるよう工夫されている。</li> <li>・のびやかで明るい書風で、薄墨と朱墨で筆使いが分かりやすく示されている。</li> <li>・巻末の既習漢字が、毛筆書体で示されている。</li> <li>・課題を硬筆で見つけ、毛筆で確かめ、最後に硬筆で他の文字に生かすという学習の流れの中で、技能の習得を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「振り返ろう」の構成で基礎・基本が定着するように工夫されている</li> <li>・硬筆・毛筆ともに同一の書き手の文字で統一されている。</li> <li>・巻末の既習漢字が、毛筆書体で示されている。</li> <li>・豊富な文字に関わる資料が各学年に取り上げられ、日常生活に学びを生かす工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精選された教材で、学年に応じた内容が取り上げられている。</li> <li>・硬筆・毛筆ともに穏健・中正な書風で、親しみやすい。筆使いが朱墨と薄墨で書かれた手本は、穂先の動きがよく分かる。運筆のポイントがわかりやすいイラストで示されている。</li> <li>・用具の扱いや姿勢などの既習事項が、学年ごとに巻頭にまとめられている。</li> <li>・「レッツトライ」では、学んだことを他教科でも生かせるような教材や用具が取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精選された教材で、学年に応じた内容が取り上げられている。</li> <li>・巻末の既習漢字が、毛筆書体で示されている。</li> <li>・穂先の動きをイラストで示し、薄墨と朱墨で筆使いが書かれるなど工夫されている。</li> <li>・毛筆教材が豊富であり、国語や日常生活と連動させ、学んだ技能を別の文字で練習したり、様々な場面で書写の技能を生かしたりできるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や用具の扱いについて発達段階に応じた内容が最初に提示されている。系統的に語彙力・表現力を高める工夫もされている</li> <li>・硬筆・毛筆ともに穏健・中正な書風で、整えて書くポイントが分かりやすく示されている。</li> <li>・学習の流れが明確で、具体的に示され、書写の基礎・基本が確実に身に付くように工夫されている。</li> <li>・道徳科や国際理解などと関連した教材や、行書など上学年の学習内容も取り入れている。</li> </ul>
<p>(3) 内容の構成</p>	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左端にインデックスが付けられ、見通しをもって学習が進められるようになっている。振り返りでは、話し合う活動が取り入れられている。</li> <li>・水書での運筆や筆圧の感覚を硬筆に生かしたり、毛筆で学んだことを硬筆で確かめたりして、関連性が理解できるように工夫されている。</li> <li>・「書写のかぎ」には書き込み欄があり、ねらいを意識して学習できるように工夫されている。</li> </ul>	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年とも、はじめに姿勢や用具の扱い、学習の進め方についての詳しい説明がついている。</li> <li>・「生かして書こう」は、単元で学んだことをまとめて、硬筆で書く構成になっており、毛筆と硬筆の関連が図られている。</li> <li>・見開きで毛筆の手本があり、次の2ページに渡り、4ステップの詳しい説明が続くため、見通しを持って学習に取り組めるように工夫さ</li> </ul>	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に合わせた教材が扱われ、既習事項を振り返りながら、技能の習得ができる。</li> <li>・硬筆教材と毛筆教材の分量のバランスがよく、毛筆の前後に試し書き、まとめ書きがあるので、学びの確認ができる。</li> <li>・1年には、取り外せる水書用紙がつき、力の入れ方、運筆の仕方の理解を促す工夫がある。</li> <li>・めあてが明確で、右に手本、左にそれを実現するための方法がすっきりと分かりやすく配置されている。</li> </ul>	<p><u>光村図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精選した内容で、紙面がすっきりしており、教材は、基礎・基本が系統的に習得できるように配慮されている。</li> <li>・水書での運筆や筆圧の感覚を硬筆に生かしたり、毛筆で学んだことを硬筆で確かめたりして、関連性が理解できるように工夫されている。</li> <li>・「たいせつ」の色枠の中に、学習ポイントが分かりやすくまとめられている。</li> <li>・文字の歴史、用具の製造など興味・関心が高められる資</li> </ul>	<p><u>日本文教</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を振り返り、基礎・基本や技能の定着を図る工夫がされている。</li> <li>・毛筆で学んだことを硬筆で確認できるように配慮されている。1・2年には水書きシートが付き、「はね・はらい」など運筆への意識付けができる工夫がある。</li> <li>・めあてと振り返りが同色の枠で囲み、自己評価が分かりやすい。黄色枠で示された正しく書くためのポイントや、筆使いのイラストで、主体的</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の成り立ちや歴史、伝統的な言語文化を味わうことのできるような教材が取り入れられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の製造法、文字の成り立ち・歴史など様々なコーナーが取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の成り立ちや文字の歴史、毛筆用具の作り方や活字など伝統的な言語文化に親しむ工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>料が取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>に練習できるよう工夫されている。</li> <li>文字の歴史や古典、日本古来の伝統色やいろは歌を教材に取り上げてある。</li> </ul>
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を整えて書くポイントや学習の流れが、学年を通して、分かりやすいマークで示されている。</li> <li>朱墨と薄墨で示された手本や穂先を表すイラスト、キャラクターの吹き出しなど、視覚的に分かりやすい。</li> <li>毛筆教材のみのすっきりした紙面や色数の少ない図版には、誰にも学びやすさが感じられる。</li> <li>「生活に広げよう」では個々の児童の興味・関心に応じて書写の学習が深まるように工夫されている。</li> </ul>	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが登場し、問題提起、用語の解説、学習ポイントをセリフで示すなど、親しみやすい紙面となっている。</li> <li>学習の進め方が色分けされて示され、理解しやすくなっている。</li> <li>中学年には、朱墨と薄墨で示された手本があり、筆使いが分かりやすい資料となっている。</li> <li>書き込み欄が多く、個に応じた学習ができるよう配慮されており、低学年には学習を確認するシールが付いている。</li> </ul>	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「考えよう」「ここが大切」を通して、ねらいに沿って学習が進むようになっている。</li> <li>キャラクターによる助言やよくある失敗例が吹き出しで示され、意識付けには、効果的である。</li> <li>文字の組み立て方では漢字を色分けして示し、筆使いや穂先の動きを示すポイントには写真や図版を使うなど、視覚的な工夫が図られている。</li> <li>「書いて伝え合おう」では、個々の児童の興味・関心に応じて発展的に日常生活に生かす工夫がされている。</li> </ul>	<p><u>光村図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見出しや学習課題が、簡潔で見やすく、内容が分かりやすい。</li> <li>猫や穂先のキャラクターの動きや、図・オノマトペで示された学習ポイントが効果的である。</li> <li>学習の進め方が、明確に示され、見通しをもって学習ができるような工夫がある。</li> <li>「やってみよう」「もっと知りたい」など個々の児童の興味・関心に応じて書写の学習が深まるように工夫されている。</li> </ul>	<p><u>日本文教</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「考える」「確かめる」「いかに」で構成され、学習の流れが分かりやすい。</li> <li>単元名の下に、めあてが平易な言葉で書かれていて、学習ポイントが明確である。</li> <li>キャラクターの問題提起や助言が効果的で、基礎的技能的習得や理解の一助となっている。</li> <li>朱墨と薄墨で示された手本により、筆の動きと筆順が分かりやすい資料となっている。</li> <li>「国語の広場」「生活と書写」では、個々の児童の興味・関心に応じて発展的に日常生活に生かす工夫がされている。</li> </ul>
5 印刷・造本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横幅を広くしたワイドな紙面となっている。</li> <li>学年ごとにテーマカラーがあり、優しい色使いでまとめられている。</li> <li>表紙は、水や墨に汚れにくい加工が施され、堅牢なつくりである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の写真やイラストが多く、親しみやすい。</li> <li>淡い色調で統一され、補助線や書き順等には、鮮明な色を使用し、分かりやすい。</li> <li>表紙は、水や墨に汚れにくい加工が施され、堅牢なつくりである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に落ち着いた色調でまとめられ、資料が美しく、イラストや写真が効果的である。</li> <li>表紙は、水や墨に汚れにくい加工が施され、堅牢なつくりである。</li> <li>全学年、裏表紙には鉛筆の持ち方が図示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に紙面構成がすっきりしている。</li> <li>表紙は、水や墨に汚れにくい加工が施され、堅牢なつくりである。</li> <li>全学年、裏表紙には鉛筆の持ち方の写真が掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙のデザインは、楽しいイラストで、内容にも多数のイラストが使用されている。</li> <li>学年ごとにテーマカラーがあり、パステルカラーの優しい色使いである。</li> <li>表紙は、水や墨に汚れにくい加工が施され、とても堅牢に製本してある。</li> </ul>

